

～利用料などを補助する制度があります～

令和6年度 試行的利用制度（概要）

目的

初めて共用装置のご利用を考えられておられる方に、利用料、旅費を補助することにより、若手研究者や中小・スタートアップ企業等の新しい研究開発の推進を支援することを目的とします

募集方法

上記の目的に合ったご利用課題を、支援機関と相談の上、利用者の方からARIMセンターハブに申請していただきます
本制度のご利用に当たっては、まず利用する支援機関とよくご相談下さい

申請の要件

- ・ 成果公開利用で目撃データの提供など利用成果を広く社会に還元することが条件となります
- ・ 大学、研究機関の若手研究者、または中小・スタートアップ企業の利用者に初めてARIMをご利用される方に限ります

補助の内容

- ・ 補助金の額は、上限20万円です
- ・ 利用料補助の他、遠隔地の方には旅費の補助もあります

お問い合わせ

※詳しくは、ご利用される支援機関、あるいは
マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ事務局
までお問合せ下さい

マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ試行的利用事務局
E-Mail : arim-trial_use@ml.nims.go.jp



全国の大学、研究機関が保有する最先端の計測・分析、加工プロセス設備&技術が使えます ～ナノプラの装置共用はマテリアル先端リサーチインフラが引き継いでいます～

最先端の設備と研究ノウハウを持った機関でネットワークを形成するナノテクノロジープラットフォーム「ナノネット」のコンセプトを継承し、皆様の研究開発を支援します
ARIMではデータの利活用という新たな視点を加え7つの重要技術領域への貢献を目指します

センターハブ
物質・材料研究機構

ハブ

- 東北大学
- 東京大学
- 名古屋大学
- 京都大学
- 九州大学

重要技術領域

- 高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル
- 革新的なエネルギー変換を可能とするマテリアル
- 量子・電子制御により革新的な機能を発現するマテリアル
- マテリアルの高効率化のための技術
- 次世代バイオマテリアル
- 次世代ナノスケールマテリアル
- マルチマテリアル化技術・次世代高分子マテリアル

利用形態

- 1) 技術相談
- 2) 機器利用
- 3) 技術補助
- 4) 技術代行
- 5) 共同研究
- 6) データ利用

約1100台の共用装置と専任技術スタッフによるサポートを提供します
共用装置検索サイト: <https://nanonet.mext.go.jp/facility.php>

